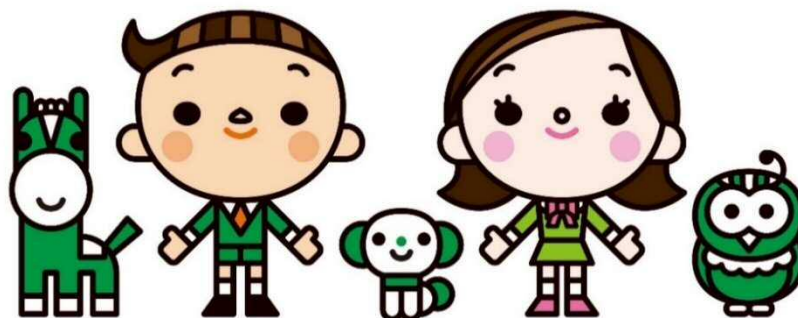


ほくほくフィナンシャルグループ 会社説明資料

2020年6月



ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group

(東証1部、札証証券コード:8377)

目次

・はじめに（プロフィール）		1		
【ほくほくフィナンシャルグループの概要】			【経営戦略】	
・プロフィール		2	・中期経営計画「ALL for the Region」	 16
・国内・海外の拠点		6	・法人戦略	 17
・地域シェア		7	・個人戦略	 19
【2020年3月期決算の概要】			・デジタル・Fintech	 21
・損益概要		8	・地域社会活性化	 22
・損益概要（北陸銀行）		9	～ESG/SDGsへの取組み～	
・損益概要（北海道銀行）		10	・業務効率化	 25
・預金・貸出金		11	・グループ総合力の発揮	 26
・有価証券		12	【別冊】参考資料	
・与信費用・不良債権		13	・ほくほくFG株価の推移	 28
・自己資本比率		14	・主要経営指標の推移	 29
・業績予想		15	・地域経済の状況	 32



ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言（2019.4.1）

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

はじめに

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融機関グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博
(北海道銀行 頭取)

経営理念

- 地域共栄** : 社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。
- 公正堅実** : 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。
- 進取創造** : 創造と革新を追及し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

ほくほくフィナンシャルグループの概要



＜富山大橋＞

プロフィール（ほくほくフィナンシャルグループ）



＜立山連峰＞ 富山県



＜大通公園＞ 北海道

設立 : 2003年
本店所在地 : 富山市
資本金 : 708億円
自己資本比率 : 8.94%
格付 : A (R&I)
(2020年3月末現在)

地方銀行 総資産ランキング(2020年3月期)

	総資産 (単位: 億円)		構成行
1位	ふくおか F G	250,684	福岡銀行、熊本銀行、親和銀行、十八銀行
2位	コンコルディア F G	189,279	横浜銀行、東日本銀行
3位	めぶき F G	178,048	常陽銀行、足利銀行
4位	千葉銀行	156,099	
5位	ほくほく F G	136,448	北陸銀行、北海道銀行
6位	静岡銀行	125,427	
7位	関西みらい F G	112,251	関西みらい銀行、みなと銀行
8位	九州 F G	110,797	肥後銀行、鹿児島銀行
9位	西日本 F H	108,227	西日本シティ銀行、長崎銀行
10位	山口 F G	106,054	山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行

※各行決算短信より当社作成（連結ベース）

プロフィール（北陸銀行）



設立：1943年（創業1877年）

本店所在地：富山市

店舗数：国内188(支店145・出張所43) 海外6

従業員数：2,524人

(在籍ベース)

資本金：1,404億円

自己資本比率：8.59%

格付：A (R&I)・A- (S&P)

＜北陸銀行オリジナルキャラクター＞



【北陸銀行の特徴】

創業は1877年に遡り、北陸3県に加え、北海道や三大都市圏にまたがる広域店舗網を持ち、幅広いネットワークを活用した業務を展開しています。



プロフィール（北海道銀行）



（2020年3月末現在）

設立：1951年

本店所在地：札幌市

店舗数：国内144(本支店136・出張所8) 海外3

従業員数：2,242人
(在籍ベース)

資本金：935億円

自己資本比率：8.76%

格付：A (R&I)

＜北海道銀行オリジナルキャラクター＞

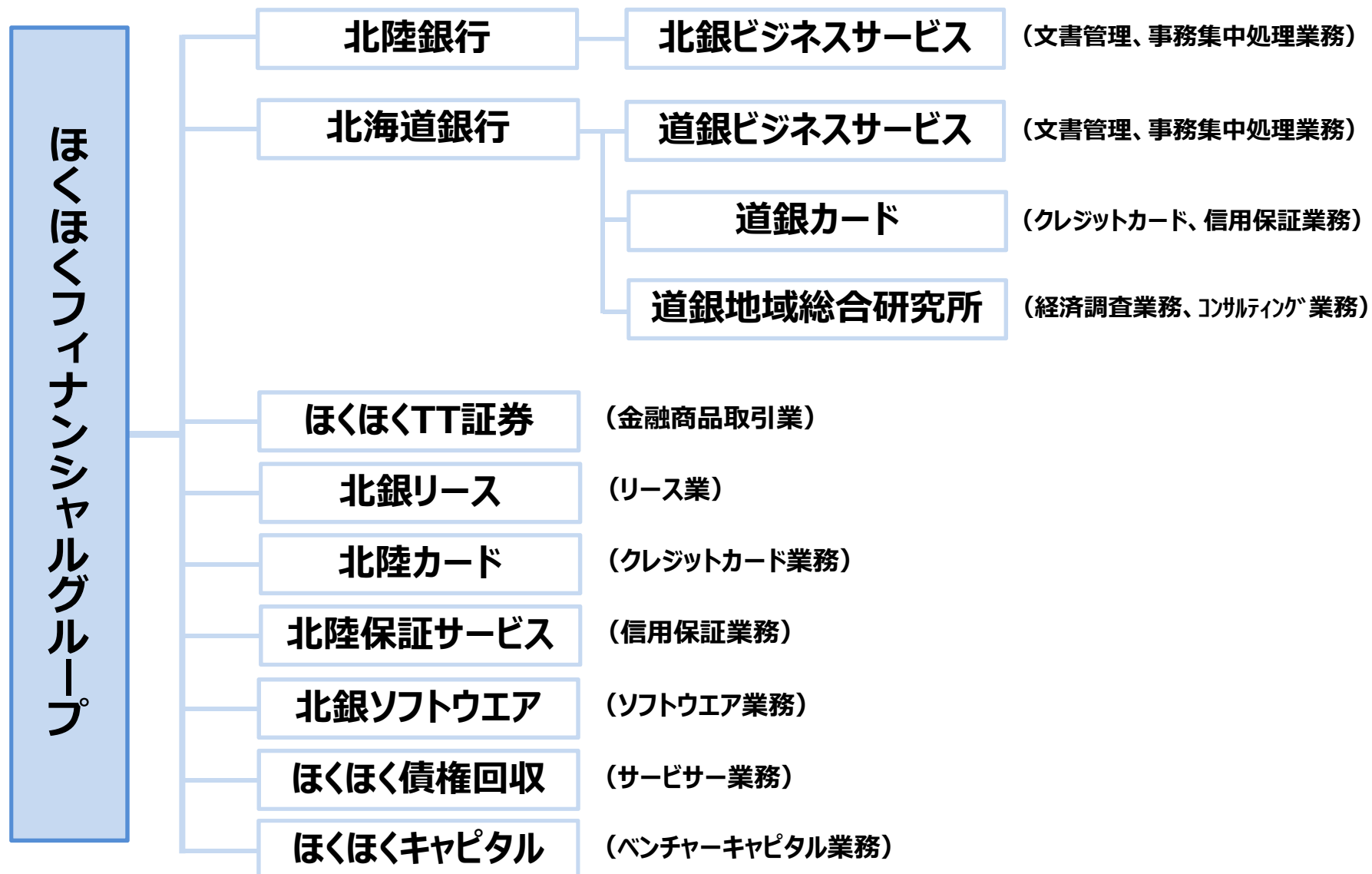


タロー

ハナコ

【北海道銀行の特徴】

戦後復興期、北海道の旺盛な資金需要に応えるべく、北海道内中小企業者の強い要望により設立。どさんこバンクとして北海道に根差した業務を展開しています。



国内・海外の拠点

国内拠点 332カ店

海外拠点 9事務所

北海道 161カ店

(北海道BK:142店、北陸BK:19店)

北陸3県 151カ店

富山…93
石川…36
福井…22
(北陸BK:151店)

三大都市圏 14カ店

東京…8
(北陸BK:7、北海道BK:1)
愛知…3
大阪…3

その他…6カ店

(仙台、横浜、新潟、長野、
高山、京都)



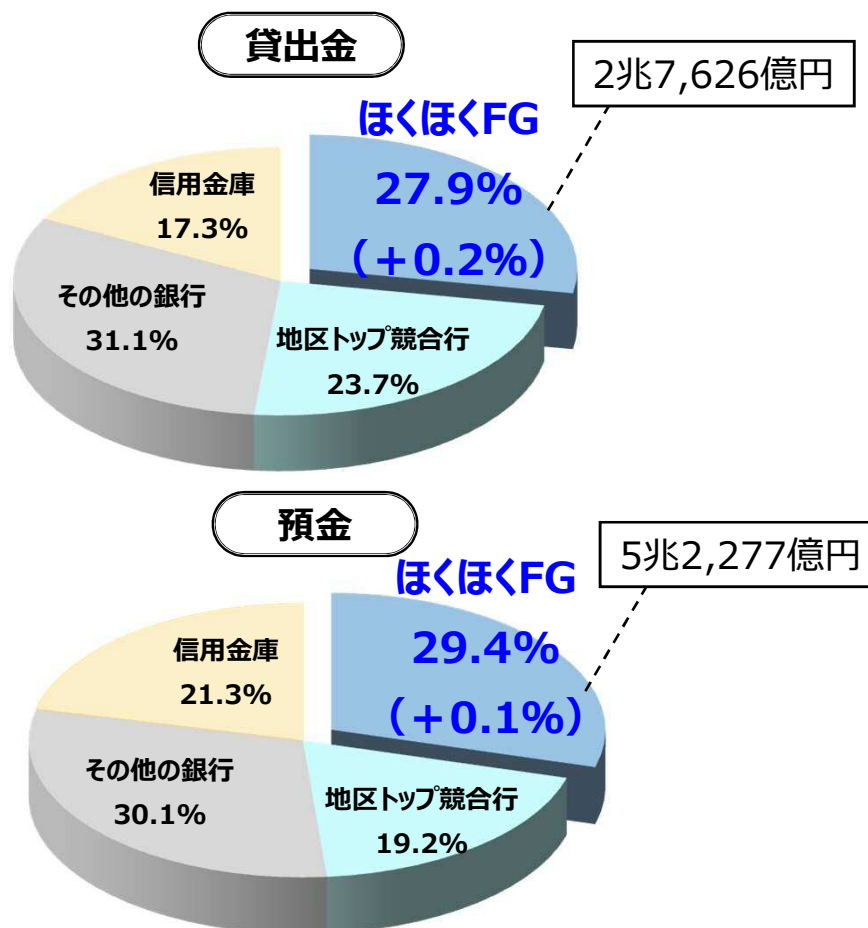
<駐在員事務所>

- | | |
|---------|------------|
| ①ニューヨーク | ⑥大連 |
| ②ロンドン | ⑦瀋陽 |
| ③バンコク | ⑧ウラジオストク |
| ④シンガポール | ⑨ユジノサハリンスク |
| ⑤上海 | |

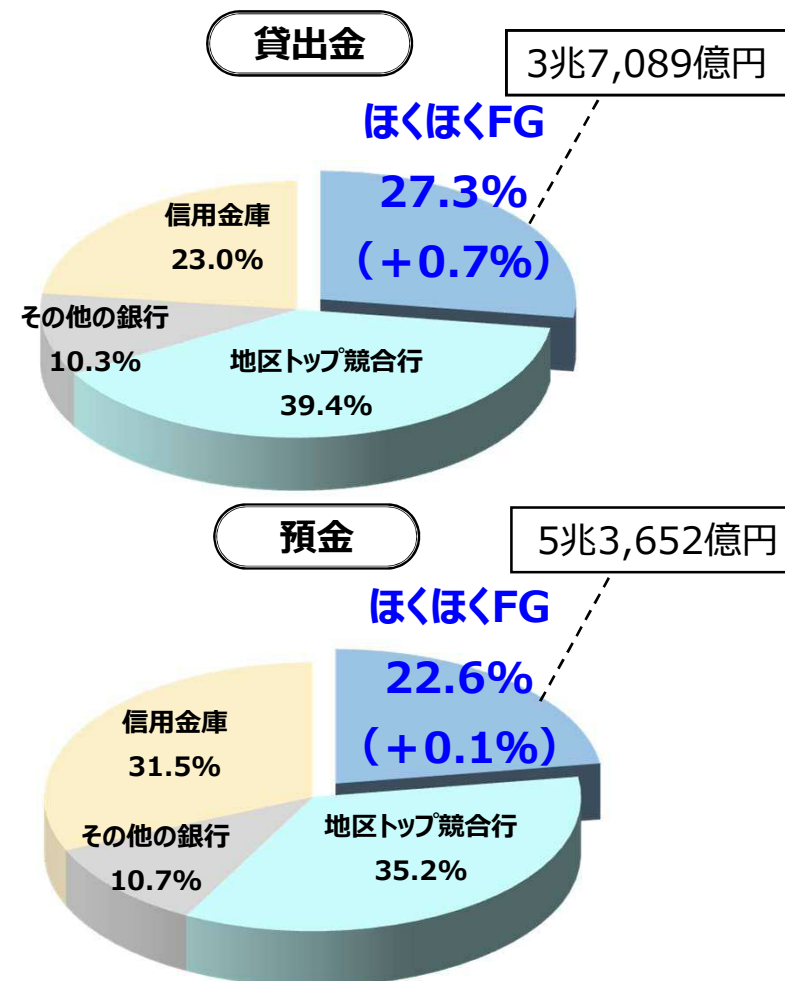
(2020年3月末現在)

北陸3県で預金・貸出金ともにトップ、北海道で第2位のシェア

北陸三県（富山、石川、福井）



北海道



※ () は2018年9月末比

※ 「地区トップ競合行」、「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く

※ 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」より当社にて作成

2020年3月期決算の概要

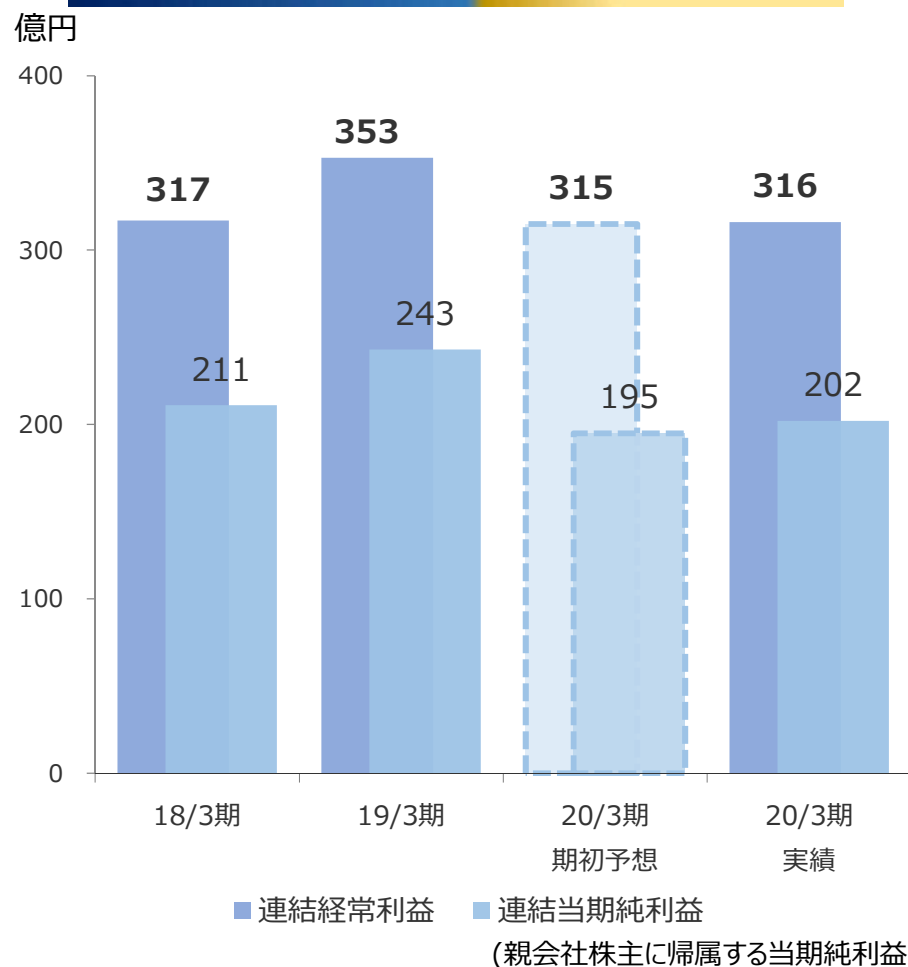


<白山>

損益概要

- ・連結経常利益は業績予想を1億円上回る316億円の実績
- ・連結当期純利益は業績予想を7億円上回る202億円の実績

損益<フィナンシャルグループ連結>



2020/3期 2行合算

(億円)

2行合算	業績 予想	実績	業績 予想比	前期比
コア業務粗利益	1,240	1,232	△ 7	△ 24
資金利益		1,054		△ 27
うち貸出金利息		842		△ 24
うち有価証券利息		232		△ 17
役務取引等利益・その他業務利益		176		1
経費 (△) (臨時処理分を除く)	870	853	△ 16	△ 11
コア業務純益	370	378	8	△ 12
(投資信託解約損益を除く)		345		△ 24
有価証券売買損益		66		34
経常利益	330	314	△ 15	△ 52
当期純利益	220	208	△ 11	△ 57
(参考)与信費用 (△)	85	120	35	74

2020/3期 損益概要（北陸銀行）

北陸銀行	実績	業績 予想比	前期比
コア業務粗利益	668	△ 1	△ 22
資金利益	552		△ 29
うち貸出金利息	428		△ 15
うち有価証券利息	142		△ 21
役務取引等利益・その他業務利益	114		5
経費（△）（臨時処理分を除く）	457	△ 7	△ 7
コア業務純益	211	6	△ 15
（投資信託解約損益を除く）	199		△ 12
有価証券売買損益	50		28
経常利益	177	△ 12	△ 44
当期純利益	112	△ 7	△ 43
（参考）与信費用（△）	92	32	64

国債償還等による資金利益の減少を、コンサルティング営業の強化による役務取引等利益の増加でカバーし、概ね業績予想水準を確保

コンサルティング営業の強化により、法人コンサルティング関連手数料が増加し、前期を5億円上回る実績

業務の効率化・集中化、互換性の向上等の取組みによる業務量・業務時間の削減により、前期比△7億円の実績

コア業務粗利益の減少を、経費の削減によりカバーし、業績予想を6億円上回る実績

与信費用の増加を有価証券売買損益により一部カバーし、業績予想比△12億円の実績

2020/3期 損益概要（北海道銀行）

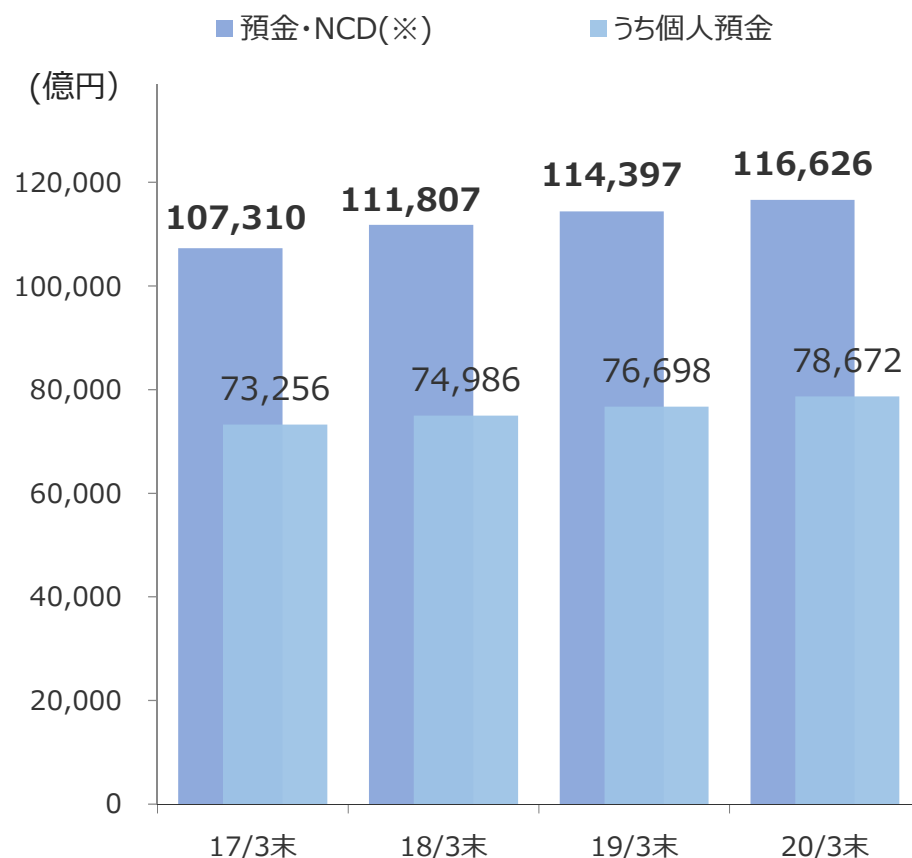
北海道銀行	実績	業績 予想比	前期比	
コア業務粗利益	563	△ 6	△ 1	役務取引等利益の減少を、貸出金・有価証券の残高の積上げによる資金利益の増加でカバー
資金利益	501		1	
うち貸出金利息	413		△ 8	利回り低下による貸出金利息の減少を有価証券利息の増加等で、カバーし、前期比＋1億円の実績
うち有価証券利息	90		4	
役務取引等利益・その他業務利益	59		△ 6	
経費（△）（臨時処理分を除く）	396	△ 8	△ 4	業務の効率化・集中化の取組みによる業務量・業務時間の削減により、業績予想比△8億円の実績
コア業務純益	167	2	2	
（投資信託解約損益を除く）	146		△ 12	コア業務粗利益の減少を経費の削減によりカバーし、業績予想を2億円上回る実績
有価証券売買損益	15		5	
経常利益	137	△ 2	△ 7	
当期純利益	95	△ 4	△ 14	与信費用の増加を有価証券売買損益により一部カバーし、業績予想比△2億円の実績
(参考)与信費用（△）	27	2	10	

預金等残高・貸出金残高

- ・預金は、個人・法人ともに増加し、前期末比+2,229億円の11兆6,626億円
- ・貸出金は、個人ローン中心に増加し、前期末比+3,122億円の8兆6,731億円

預金残高（末残）

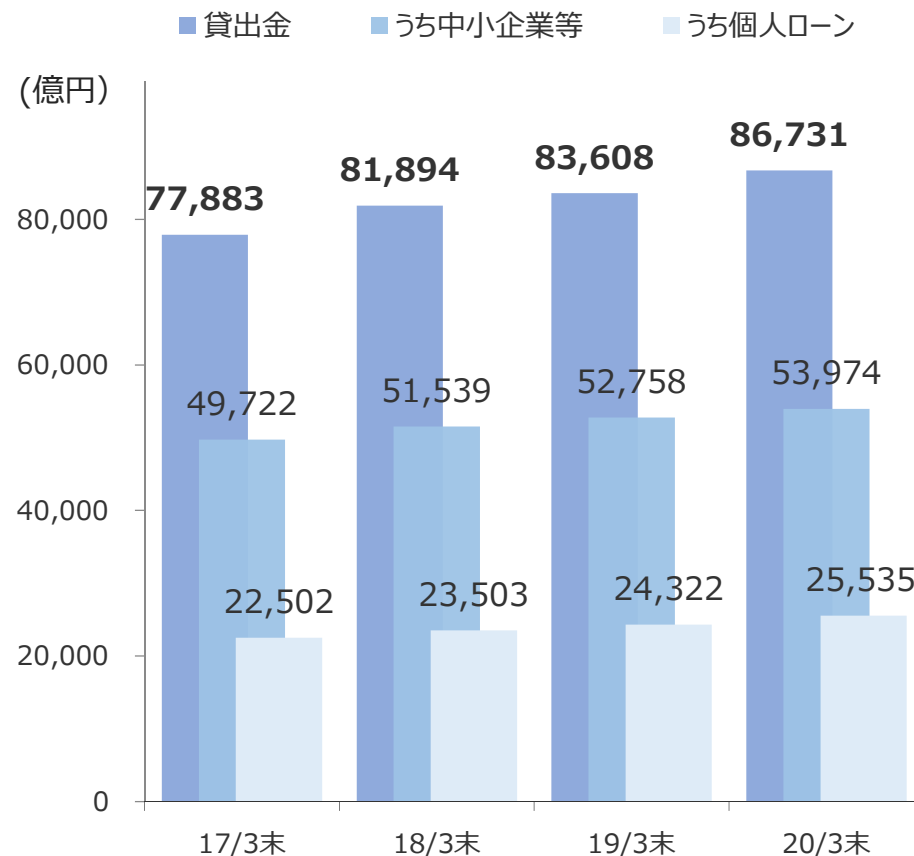
2行合算



(※)NCD・・・譲渡性預金

貸出金残高（末残）

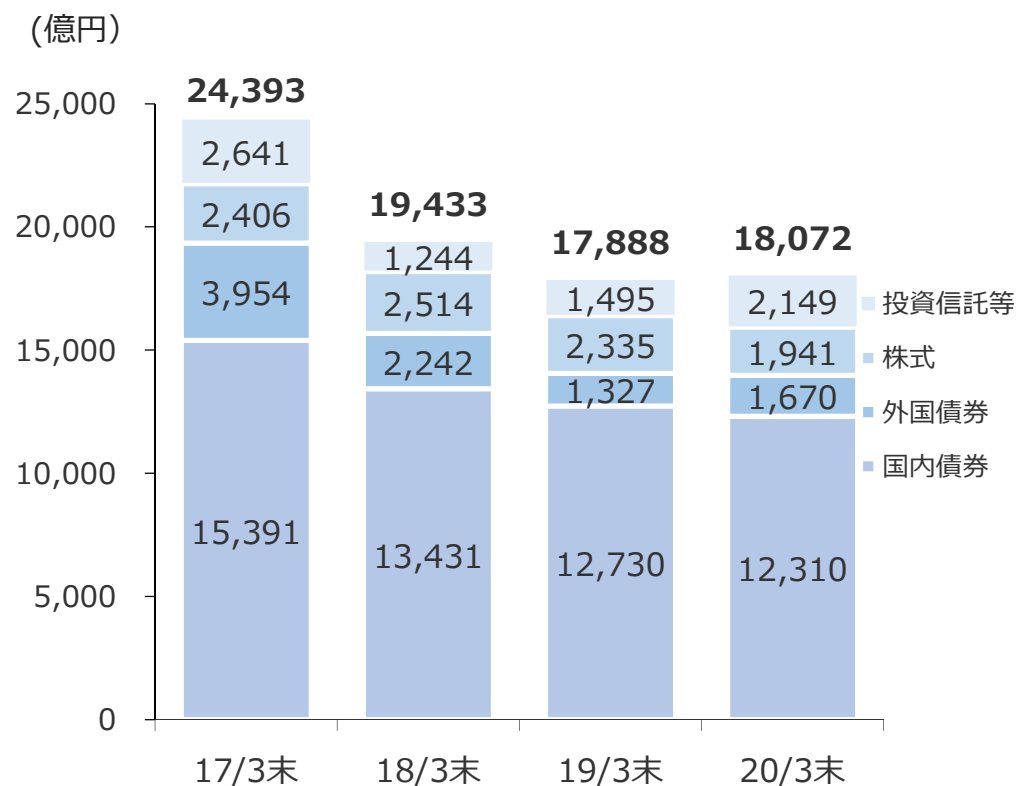
2行合算



・有価証券残高は、前期比 + 183億円の1兆8,072億円

有価証券残高（末残）

2行合算



有価証券損益・評価損益

2行合算

(億円)

	20/3期	増減額	19/3期
有価証券利息	232	△ 17	249
円債	79	△ 15	94
株式	51	△ 7	59
その他	101	5	95
有価証券の売買損益	66	34	31
国債等債券損益	84	63	21
株式等損益	△ 18	△ 28	10
その他有価証券の評価損益	767	△ 492	1,260
債券	67	△ 81	149
株式	748	△ 308	1,056
その他	△ 48	△ 102	54

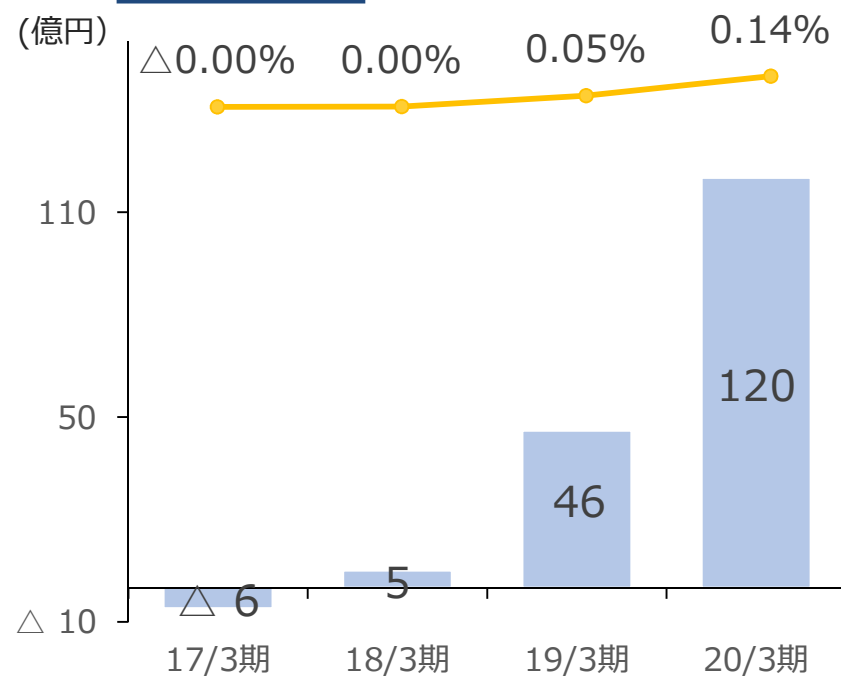
与信費用・不良債権

- ・与信費用は、前期比 + 74億円増加の120億円
- ・不良債権残高は、前期末比△12億円の1,534億円

与信費用・比率

2行合算

与信費用比率

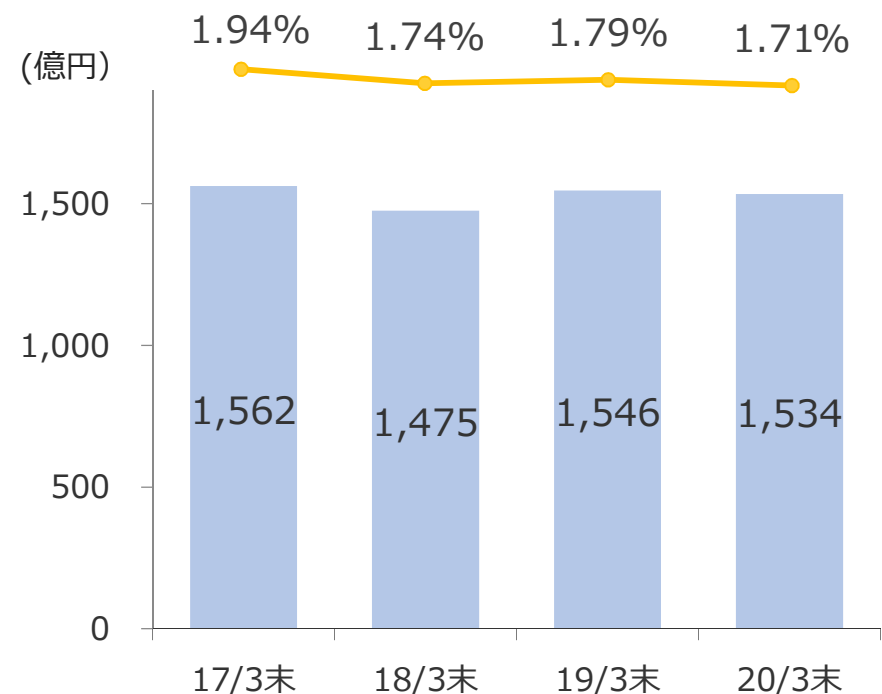


■ 与信費用

不良債権残高・比率

2行合算

不良債権比率

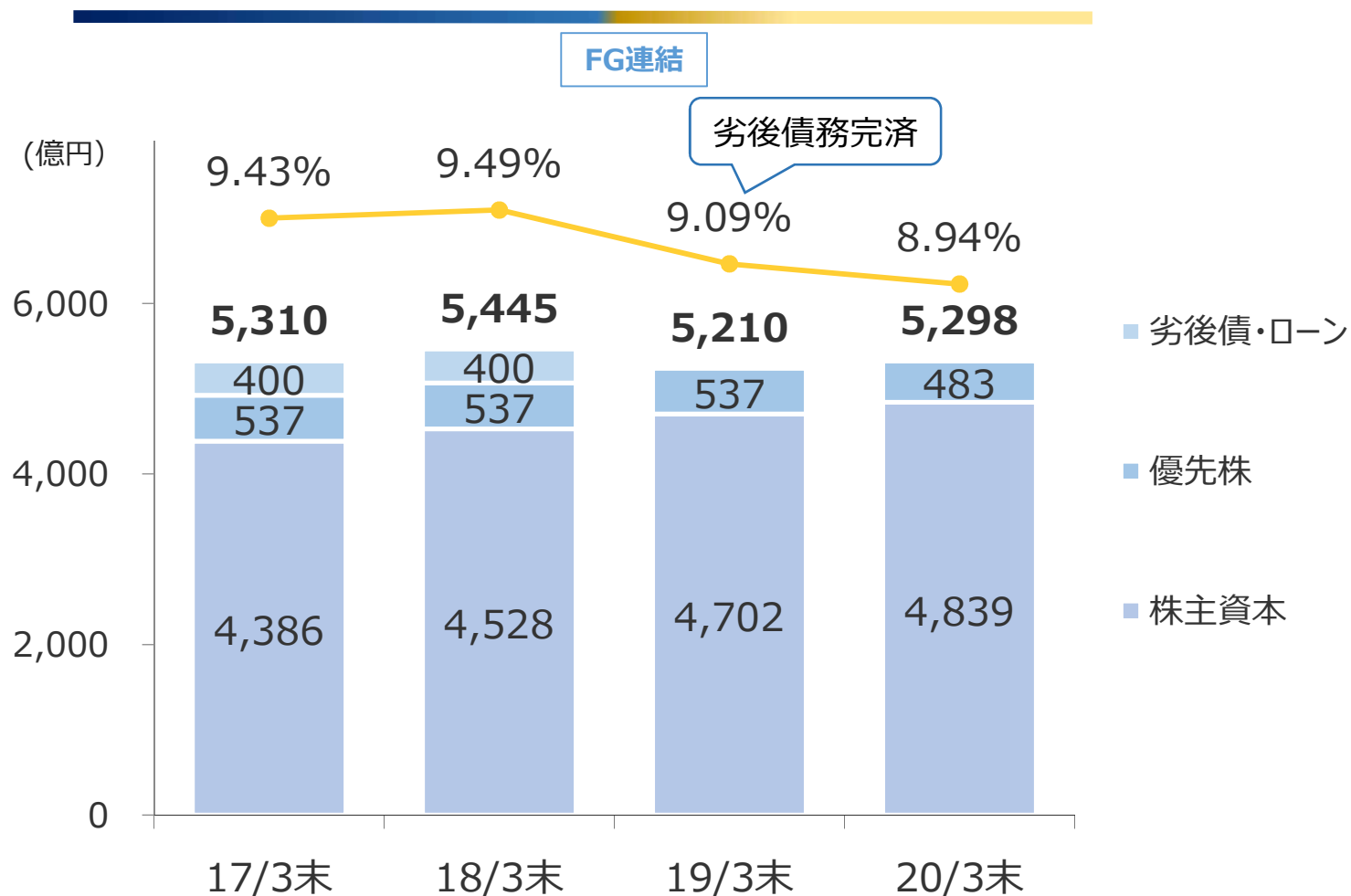


■ 不良債権残高

自己資本・連結自己資本比率 <FG連結>

・2019年10月に第1回第5種優先株式537億円の10%を一部償還させていただきましたが、自己資本比率は、8%後半を維持

自己資本・連結自己資本比率



2021年3月期 通期業績予想

(億円)

FG連結		
	21/3期 業績予想	前年比
経常利益	260	△ 56
当期純利益 (※)	165	△ 37

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)

	【2行合算】		【北陸銀行】		【北海道銀行】	
	21/3期 予想	前年比	21/3期 予想	前年比	21/3期 予想	前年比
コア業務粗利益	1,210	△ 22	645	△ 23	565	1
経費 (△)	855	1	455	△ 2	400	3
コア業務純益	355	△ 23	190	△ 21	165	△ 2
与信費用 (△)	120	0	70	△ 22	50	22
経常利益	270	△ 44	155	△ 22	115	△ 22
当期純利益	180	△ 28	100	△ 12	80	△ 15

2021年3月期 配当予想

(円)

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	35円00銭	35円00銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

(参考) 配当推移

11/3～13/3 期	14/3 期	15/3～16/3 期	17/3～19/3 期	20/3 期	21/3 期予想
37.50	40.00	42.50	44.00	40.00	35.00

2016年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しています。
(上記の配当実績は過年度と比較のため「併合後の1株当たりの配当金額」としています。)

(参考) 当期純利益推移

(億円)

11/3 期	12/3 期	13/3 期	14/3 期	15/3 期	16/3 期	17/3 期	18/3 期	19/3 期	20/3 期	21/3 期予想
184	141	181	273	282	288	281	211	243	202	165

経営戦略

中期経営計画「ALL for the Region」

中期経営計画(2020/3期～2022/3期)

目指す姿

位置付け

当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客様に寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

基本方針

「地域社会発展への貢献」

「未来への進化・変革」

「グループ総合力の発揮」

共通 価値の創造

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域と共に成長・発見する総合金融グループ

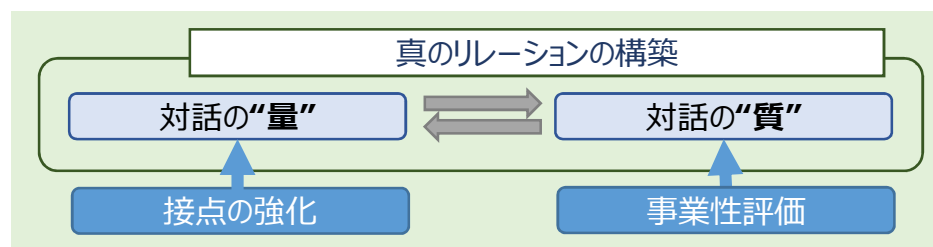
重点指標

項目	2019/3期(実績)	2020/3期(実績)	前期比
本業利益 (2行合算) *	180億円	169億円	△10億円
当期純利益 (連結)	243億円	202億円	△41億円
自己資本比率 (連結)	9.09%	8.94%	△0.15%
コア業務粗利益ベースOHR (連結)	68.85%	69.27%	0.42%

*「コア業務純益－有価証券利息損益（外貨調達コスト除くネット損益）」にて算出

金融仲介機能を発揮し、事業性評価に基づく融資の促進

事業性評価に基づく融資



BCP(事業継続計画)支援

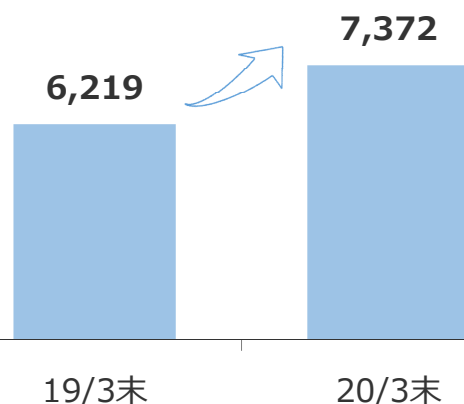
- ・「震災時元本免除特約付き融資」の取扱い
2019年度実行件数117件/9,770百万円（2行合算）
- ・災害時緊急充電スポットを設置（北陸銀行）
- ・「BCP(事業継続計画)策定支援コンサル」の実施（北海道銀行）

ESG・SDGs関連投融資

- ・本業を通じ、持続可能な社会の実現に貢献
- ・Eco私募債や寄贈型SDGs私募債等の推進

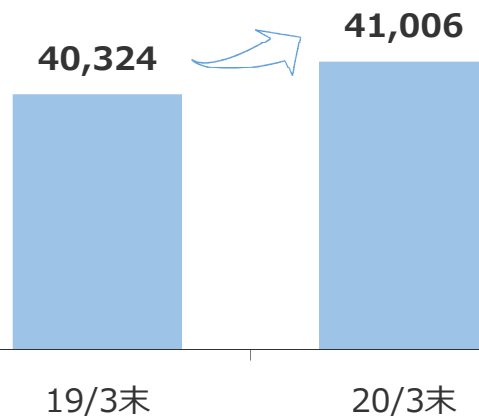
事業性評価に基づく融資先数（※1）

2行合算



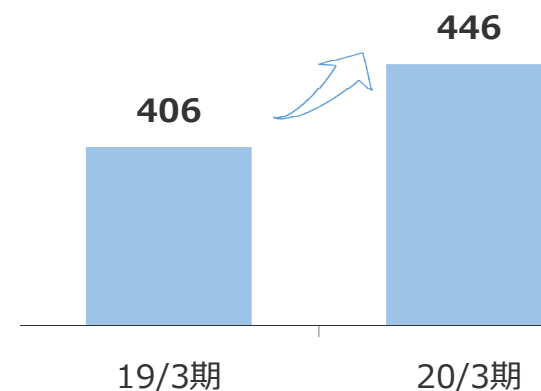
事業性貸出残高（末残・億円）

2行合算



ESG・SDGs関連投融資（※2）件数

2行合算

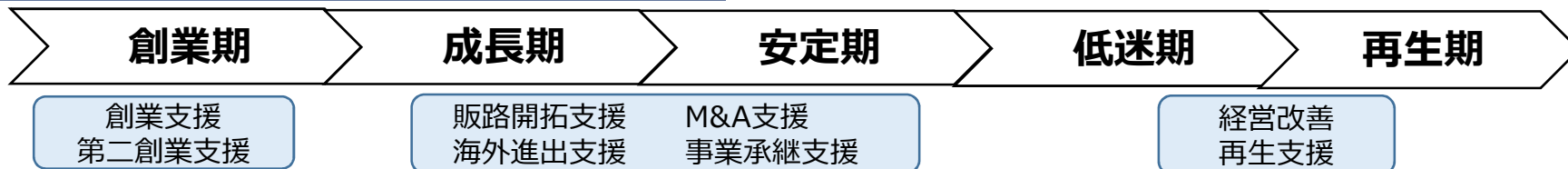


（※1）分析シートの作成など、事業性評価の取り組みを実践している融資お取引先数

（※2）Eco私募債、寄贈型ESG私募債・寄贈型SDGs私募債・寄贈型CSR私募債、環境評価証明書関連融資等

地域のお客さまの持続的な企業価値向上に資する支援を実施

ライフステージに応じたソリューションの提供



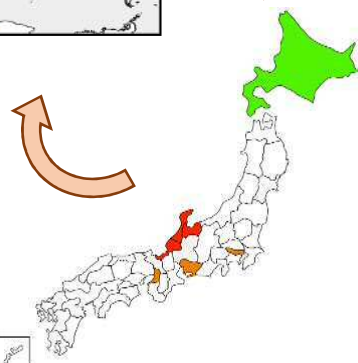
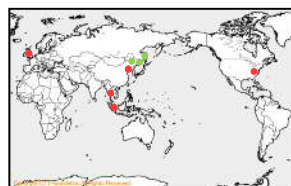
創業支援

- ・創業支援セミナー等の実施
- ・公的助成申請サポート
ものづくり補助金採択件数
69件(2行合算・2019年度)



販路開拓支援

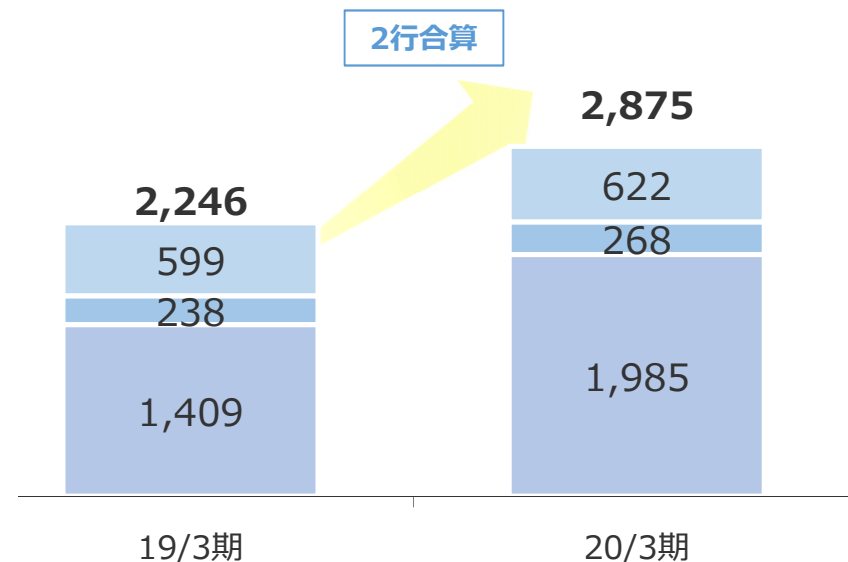
- ・国内外において積極的に商談会を行い、
販路開拓支援を実施



M&A・事業承継

- ・本部渉外人員の育成・増員
- ・M&A・事業承継セミナー開催

法人ソリューション成約件数



ライフスタイル・ライフステージに応じた提案

若年層 ～20代	資産形成層 30代～50代	退職前後層 50代～60代	高齢者層 70代～
-------------	------------------	------------------	--------------

平準払保険 『医療費リスクに備える』 ご提案

投資信託 『将来に備えるお金』 ご提案



投信・公共債・外貨預金 『育てるお金』 ご提案

保険 『収支・保障に備えるお金』 ご提案

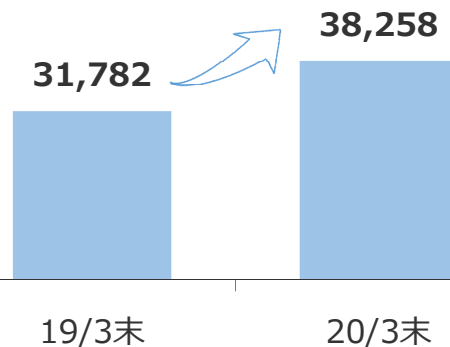


資産形成～資産承継に至るまでの多様なニーズにお応え



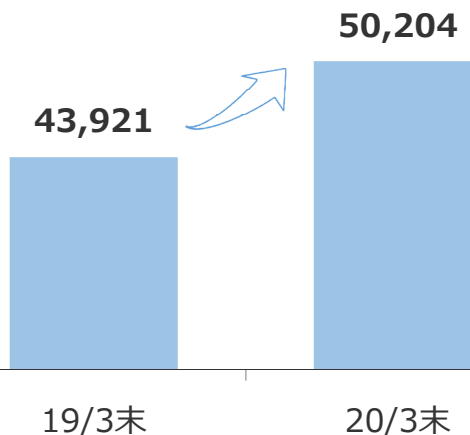
積立型投資信託 先数

2行合算



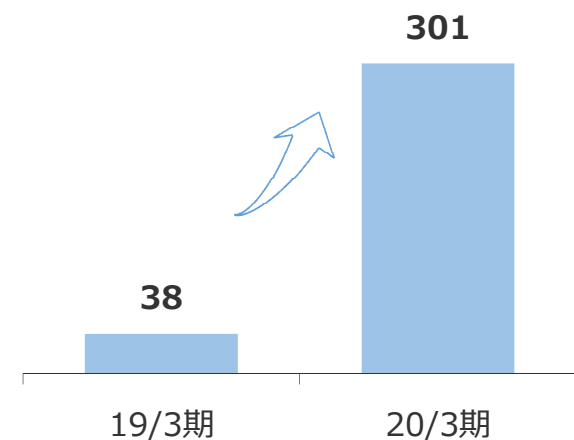
平準払保険 契約先数

2行合算



信託取扱件数（取次を含む）

2行合算



住宅ローン 商品性・利便性向上

商品性の向上

・住宅ローン商品内容の改定・改善の実施

金利条件の改定や年収制限撤廃（北陸銀行）
最長期間の見直し、前払保証料の撤廃（北海道銀行）



利便性の向上

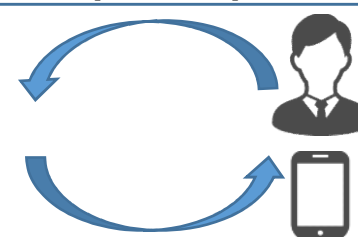
・住宅ローン「電子契約サービス」の取扱開始

手続きがより簡単になり、利便性向上へ

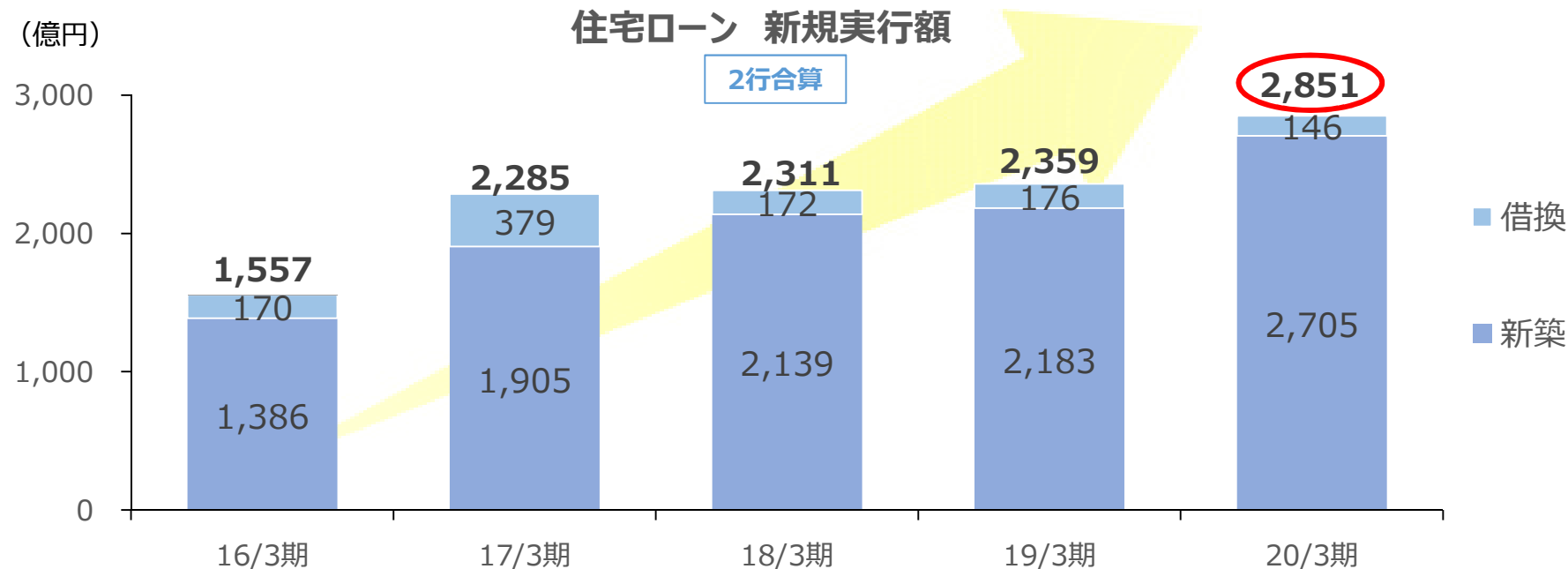
・WEB申し込みフォームリニューアル(北陸銀行)



電子契約
サービス



商品性・利便性向上により、単年度で過去最高額の2,851億円の新規実行が実現



地域のキャッシュレス化の推進

地域のキャッシュレス化推進に向けて、スマホ決済サービス「ほくほくPay」などの取り扱いを開始



ほくほくPay



ほくほくPay



TOYOTA
wallet



Smart Code



2019年度主な取組事項

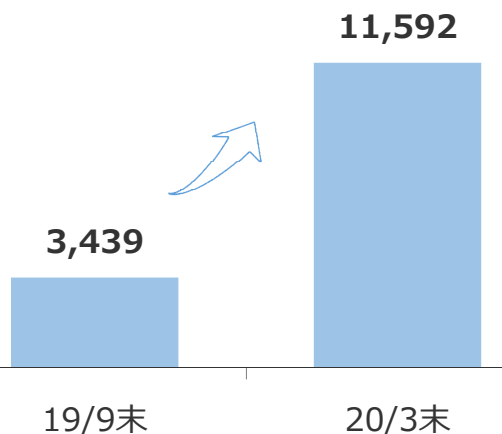
- ・2019年 7月 「StarPay」の契約取次業務開始
- ・2019年11月 「ほくほくPay」サービス開始
- ・2020年 3月 JCBと提携したコード決済の取扱いを開始
- ・2020年 4月 「ほくほくPay」と「TOYOTA Wallet」との連携



他の決済サービスとの提携により、更なる利便性向上へ

キャッシュレス加盟店(※1)数

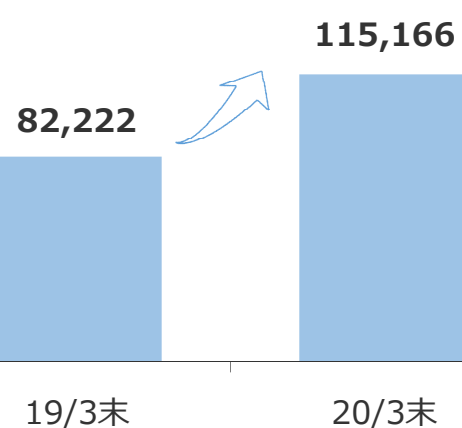
2行合算



(※1)ほくほくPay、J-Coin Payの加盟店舗数

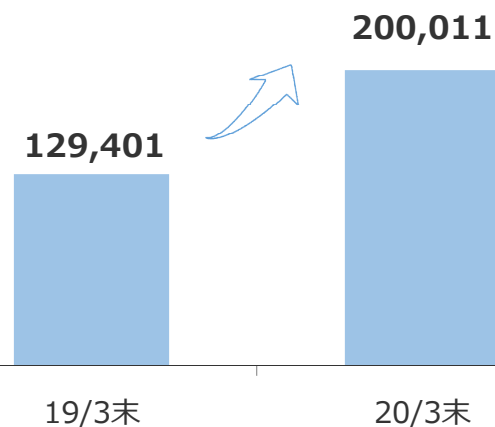
無通帳口座保有先数

2行合算



スマホアプリ利用先数(※2)

2行合算



(※2)両行のスマホアプリをインストールかつログイン
いただいているお客さまの先数

持続可能な地域社会の実現

- ・ESG・SDGs課題の解決に貢献する投融資の推進
- ・公的助成申請サポートによる創業等の支援
- ・販路拡大や工場進出などの事業拡大を支援
- ・海外進出支援や現地におけるビジネス展開を支援
- ・自治体を含む各種団体との連携強化
- ・BCP(事業継続計画)をサポート

すべてのお客さまにとっての利便性向上

- ・タブレット端末による金融商品の申込受付
- ・住宅ローンの電子契約サービスの開始
- ・インターネットバンキング、各種アプリの提供による非対面取引での利便性向上
- ・各種キャッシュレス決済サービスの開始

環境問題に向けた取り組み

- ・環境問題の解決に貢献するため「グリーンボンド」を購入(北陸銀行)
- ・ペーパーレス化の推進
- ・植樹活動に参加(北陸銀行)
- ・環境に配慮した店舗設備等の設置、エコカーの導入



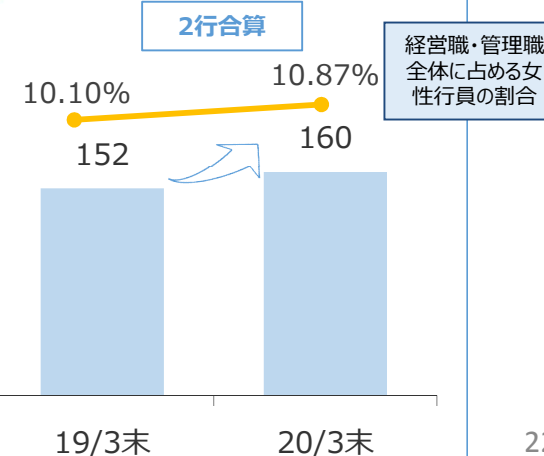
生産性向上に繋がる職場づくり



- ・「健康経営優良法人2020大規模法人部門(ホワイト500)」の認定
- ・ダイバーシティの推進
- ・RPAで業務改革を推進



女性経営職・管理職数



地域社会の課題

少子高齢化
人口減少
都市部一極集中

地域における金融リテラシーの向上



- ・積立投信やNISA、iDeCo推進による資産形成支援
- ・金融経済授業の実施、「親子で銀行体験」など体験型教育機会の提供
- ・エコノミクス甲子園の開催

	北陸銀行	北海道銀行
「出前授業」「資産形成セミナー」等 金融経済授業・セミナー 受講者数	9,459名	2,808名

地域社会活性化 ～ESG/SDGsへの取り組み～



持続可能な地域社会の実現

Hokuriku Big Advance（北陸銀行）

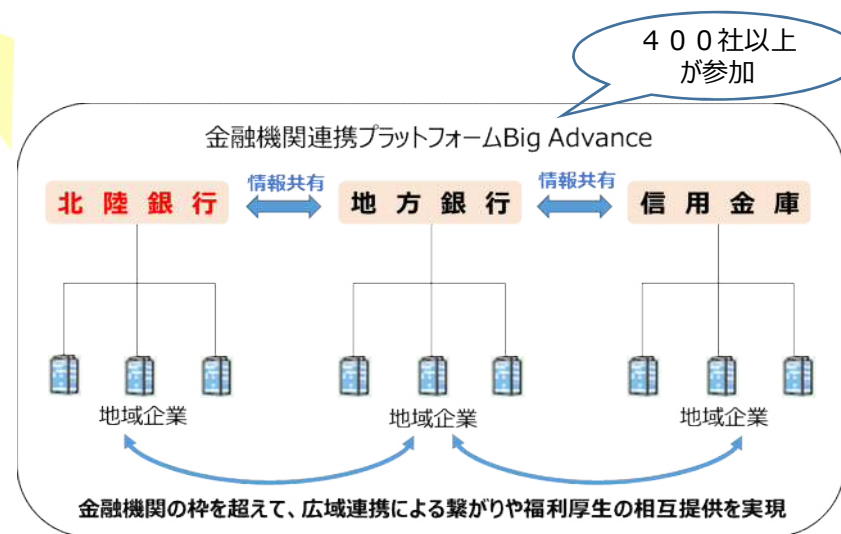
経営支援プラットフォームの運用開始（2019年11月）

お客さまご自身がインターネット上のサイトにアクセスしてご利用いただく経営支援プラットフォーム「Hokuriku Big Advance」の運営を開始いたしました。

販路拡大・業務効率化・事業承継など地域企業の様々な経営課題にワンストップで応えることが可能となりました。



新たな技術やサービス、未来の新規事業創出の実現を支援



PPP事業を通じたSDGs推進支援（北陸銀行）

プロジェクトファイナンスを組成

北陸銀行は、日本政策投資銀行と連携し、富山市のPPP（※）事業「本庁舎北側公有地活用事業」を受託するために設立された株式会社PPP新桜に対するプロジェクトファイナンスを組成いたしました。

本件は、地域経済の活性化への貢献に資する取組みであり、今後とも成長資金の供給による地域経済活性化に取り組んでまいります。

地域企業の資金・ノウハウを活用して
富山市のコンパクトなまちづくりを実現へ



地域社会活性化 ～ESG/SDGsへの取り組み～



持続可能な地域社会の実現

6次産業化支援による地域活性化（北海道銀行）

「合同会社OMEGAファーマーズ」の搾油事業開始

北海道銀行が直接出資、代表社員を派遣し、若手農業者の育成、耕作放棄地の活用といった北海道農業の課題解決に貢献することを目的として設立された「合同会社OMEGAファーマーズ」の食用油製造工場（士別市、廃校となった小学校の施設を活用）が、2020年3月に操業を開始いたしました。

農業者が自ら生産、加工、販売を行う「6次産業化」を支援してまいります。



生産現場の付加価値

各フェーズの付加価値を高めることで 北海道農業の発展に貢献

生産 → 加工 → 販売・流通



1次 × 2次 × 3次 = 6次産業化
(高付加価値化の経営支援)

流通事業への出資および経営支援（北海道銀行）

「株式会社HAL GREEN」への出資および経営支援について

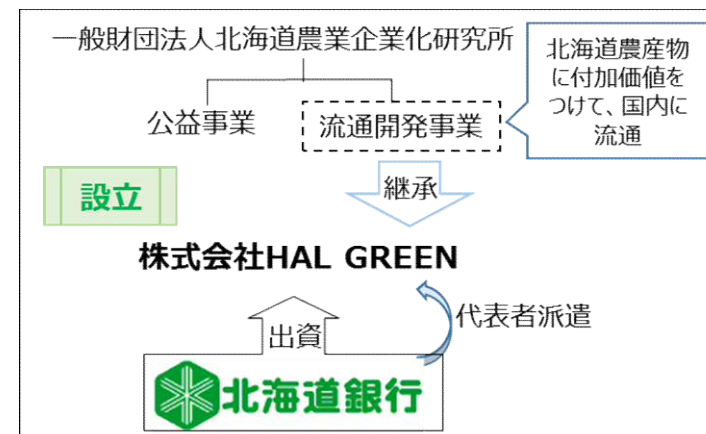
北海道銀行は、株式会社HAL GREENへの出資および代表者派遣を行い、北海道農産物の流通事業の経営支援を始めました。

株式会社HAL GREENは、一般財団法人北海道農業企業化研究所（HAL財団）の流通開発事業を継承し設立された会社です。

これまでの取引を維持拡大し、北海道の生産者さまとともに発展することを目的としております。



流通事業の付加価値



店舗の利便性向上・効率化

お客さまの利便性向上に向けた拠点開設

- ・北陸銀行は、富山地区最大級の商業施設「フューチャーシティファボーレ」に出張所をオープンいたしました。
- ・平日の夜間や休日にもお客さまのライフステージに合わせた資産運用・相続のご相談、各種諸届のお手続きが可能となりました。

- ・北海道銀行は、地下鉄大通駅に「口座開設プラザ」を開設し、平日15時以降や土日祝日の時間帯における口座開設を可能とすることで、お客さまの利便性向上に取り組んでおります。



お客さまの利便性の更なる向上へ



業務効率化・生産性向上

業務効率化促進によるお客さま相談業務へ注力

- ・RPA(Robotic Process Automation)により事務の削減に取り組んでおります。

単純作業はRPAに

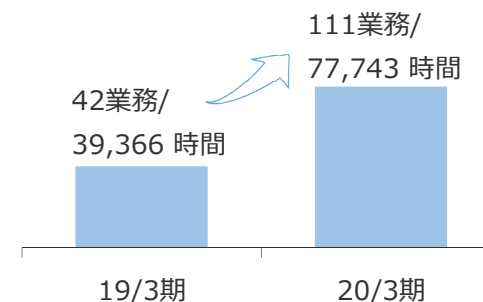


渉外人員の増強 コンサル業務等へ注力



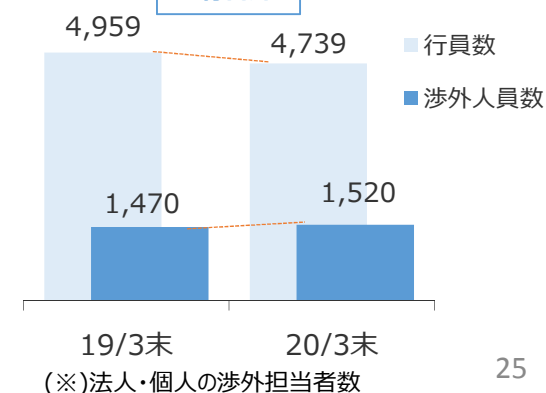
RPAを活用した業務削減

2行合算・累計



渉外人員数

2行合算



機能的な組織体制の構築

本部組織改編

2019年度

- ・FG企画グループと両行経営企画部、FGリスク管理グループと両行統合リスク管理部、コンプライアンス統括部を一体で運営する新体制に移行
- ・全部署・委員会の名称・役割を統一



2020年度

- ・両行総合事務部・システム統括部を一体運営する新体制に移行予定

北海道地区における連携強化

【本部】

- ・道内バックオフィス業務の集約
- ・道内営業・店舗戦略のシナジー追及

【営業店】

- ・道内営業店間の連携強化を目的とした「ほくほく連携会議」を各地で開催



意思決定の迅速化
業務の一体運営

事務・システムの統一
商品・サービスの高度化
投資の最適化

FG共同企画
機能共同活用の促進

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

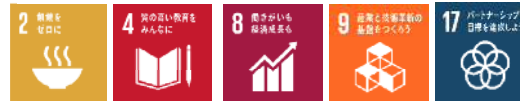
北陸銀行

北海道銀行

シナジーの追求による
コスト削減

総合金融サービス提供
による収益力強化

グループ総合力の発揮

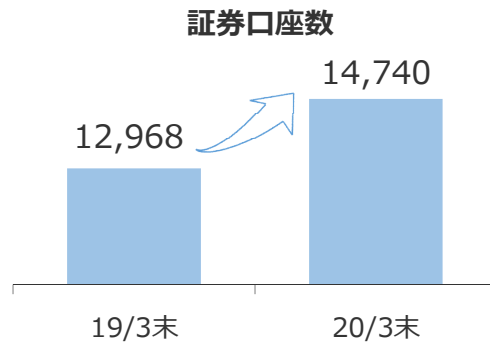


総合金融グループとしての金融サービスを提供

ほくほくTT証券

・銀証連携による総合提案

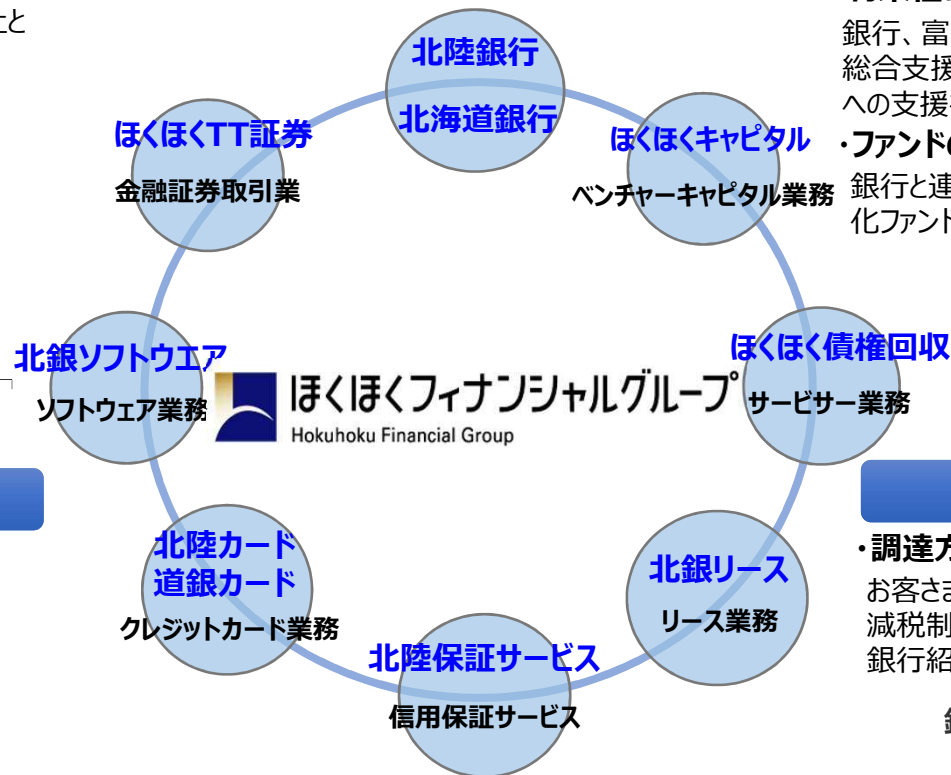
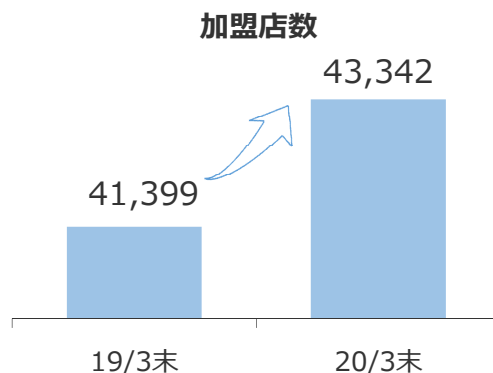
銀行より紹介を受けたお客さまへ証券会社としての総合提案の実施



北銀カード・道銀カード

・キャッシュレス化推進連携

銀行のキャッシュレス化推進と連携し、加盟店取引を拡大



ほくほくキャピタル

・将来性ある地元ベンチャー企業への投資

銀行、富山県と連携し、「元気とやま中小企業総合支援基金」を活用した地元ベンチャー企業への支援を強化

・ファンドの推進

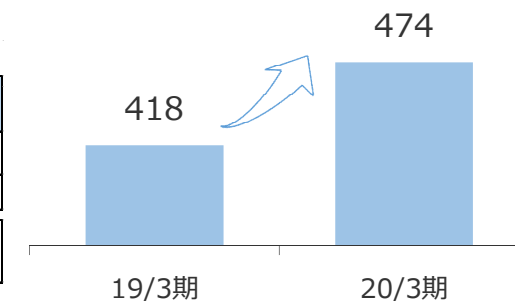
銀行と連携し、ほくほく応援ファンド、六次産業化ファンド、アグリ育成ファンドの推進を強化

北銀リース

・調達方法の最適化に向けた総合提案

お客さまの調達の幅を広げるため、補助金や減税制度等も活用した総合提案を実施
銀行紹介で年間386件の新規取引が実現

銀行からのリース取次件数

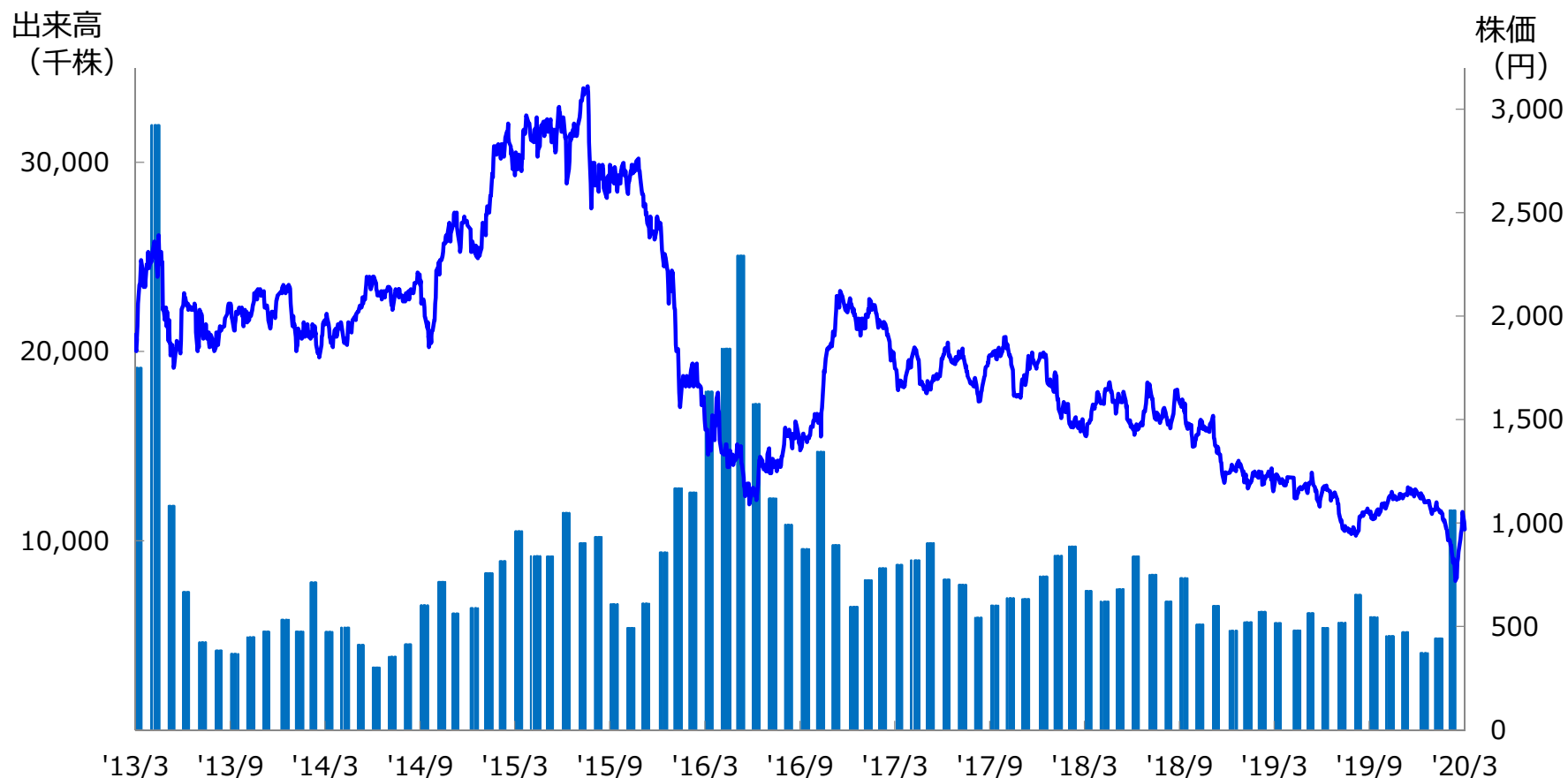


関連会社経常利益推移

	17/3期 (A)	18/3期	19/3期	20/3期 (B)	(B-A)
経常利益	30.8	27.7	19.1	32.1	1.3
うち与信費用	0.8	7.2	15.9	3.5	2.6
【参考】経常利益 (除く与信費用)	31.6	34.9	35.0	35.6	4.0

(億円)

ほくほくFG株価の推移



	2013/3/29	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31	2018/3/30	2018/9/28	2019/3/29	2019/9/30	2020/3/31
当社株価	1,900	1,980	2,680	1,480	1,747	1,443	1,597	1,153	1,045	968
日経平均	12,397.91	14,827.83	19,206.99	16,758.67	18,909.26	21,454.30	24,120.04	21,205.81	21,755.84	18,917.01
TOPIX	1,034.71	1,202.89	1,543.11	1,347.20	1,512.60	1,716.30	1,817.25	1,591.64	1,587.80	1,403.04

2016年10月1日付で、普通株式10株を1株とする株式併合を行っております。

経営指標等 主要経営指標の推移 (ほくほく F G)

(単位：億円)

(ほくほくFG連結)	2016/3期 通期	2016/9期 半期	2017/3期 通期	2017/9期 半期	2018/3期 通期	2018/9期 半期	2019/3期 通期	2019/9期 半期	2020/3期 通期
経常収益	1,925	939	1,874	917	1,809	918	1,836	906	1,824
経常利益	464	237	394	180	317	194	353	174	316
親会社株主に帰属する 当期（中間）純利益	288	167	281	111	211	139	243	116	202
自己資本比率	10.30%	10.28%	9.43%	9.73%	9.49%	9.78%	9.09%	9.29%	8.94%

(2行合算)

コア業務粗利益	1,430	694	1,338	650	1,307	640	1,257	613	1,232
経費	909	445	898	445	888	437	865	430	853
コア業務純益	520	248	439	205	419	203	391	183	378
有価証券等関係損益	2	▲ 12	▲ 16	13	▲ 71	11	31	42	66
与信費用	37	▲ 11	▲ 6	23	5	5	46	51	120
経常利益	467	237	402	191	331	206	367	177	314
当期（中間）純利益	299	172	296	125	240	155	266	124	208
ROA（コア業務純益ベース）	0.45%	0.42%	0.37%	0.33%	0.34%	0.31%	0.30%	0.28%	0.28%
OHR（コア業務粗利益ベース）	63.57%	64.21%	67.13%	68.46%	67.89%	68.30%	68.85%	70.11%	69.27%
貸出金（末残）	75,996	77,004	77,883	79,463	81,894	81,505	83,608	84,565	86,731
預金（末残）含む譲渡性預金	105,026	105,266	107,310	110,133	111,807	113,071	114,397	114,298	116,626
有価証券（末残）	23,958	24,522	24,393	21,263	19,433	19,915	17,888	18,486	18,072
金融再生法開示債権	1,686	1,606	1,562	1,546	1,475	1,510	1,546	1,588	1,534
開示債権比率	2.15%	2.02%	1.94%	1.88%	1.74%	1.79%	1.79%	1.82%	1.71%

主要経営指標の推移 (北陸銀行)

(単位：億円)

	2016/3期 通期	2016/9期 半期	2017/3期 通期	2017/9期 半期	2018/3期 通期	2018/9期 半期	2019/3期 通期	2019/9期 半期	2020/3期 通期
経常収益	933	458	929	456	911	454	902	447	885
コア業務粗利益	753	368	729	353	712	350	691	333	668
経費	486	238	482	238	475	235	464	230	457
コア業務純益	266	129	247	115	237	114	226	102	211
有価証券等関係損益	4	6	3	8	21	9	21	29	50
与信費用	▲ 11	▲ 10	▲ 6	17	18	▲ 0	28	42	92
経常利益	267	145	248	108	241	126	221	99	177
当期(中間)純利益	165	107	187	65	157	92	155	65	112
自己資本比率	9.78%	9.48%	8.74%	9.04%	9.02%	9.21%	8.79%	8.92%	8.59%
ROA (コア業務純益ベース)	0.40%	0.37%	0.35%	0.32%	0.32%	0.30%	0.29%	0.26%	0.27%
OHR (コア業務粗利益ベース)	64.57%	64.77%	66.12%	67.44%	66.67%	67.33%	67.19%	69.24%	68.43%
貸出金(未残)	43,834	44,460	44,676	45,679	46,701	46,464	47,403	48,234	49,103
預金(未残) 含む譲渡性預金	61,176	61,066	62,433	63,637	65,058	65,531	66,368	65,972	67,354
有価証券(未残)	13,439	13,842	14,576	13,646	13,171	13,190	11,970	11,944	11,580
金融再生法開示債権	977	913	891	889	863	878	914	949	962
開示債権比率	2.18%	2.01%	1.96%	1.91%	1.81%	1.85%	1.89%	1.93%	1.92%

主要経営指標の推移 (北海道銀行)

(単位：億円)

	2016/3期 通期	2016/9期 半期	2017/3期 通期	2017/9期 半期	2018/3期 通期	2018/9期 半期	2019/3期 通期	2019/9期 半期	2020/3期 通期
経常収益	855	405	789	387	782	382	755	365	749
コア業務粗利益	676	325	608	296	595	290	565	280	563
経費	422	207	415	206	413	201	401	199	396
コア業務純益	253	118	192	90	182	88	164	80	167
有価証券等関係損益	▲ 1	▲ 18	▲ 19	4	▲ 92	1	9	13	15
与信費用	48	▲ 0	▲ 0	6	▲ 12	6	17	8	27
経常利益	200	92	153	82	89	80	145	78	137
当期（中間）純利益	134	65	109	59	82	63	110	58	95
自己資本比率	10.23%	10.05%	9.34%	9.53%	9.28%	9.44%	8.69%	8.98%	8.76%
ROA（コア業務純益ベース）	0.52%	0.49%	0.40%	0.35%	0.36%	0.33%	0.31%	0.29%	0.30%
OHR（コア業務粗利益ベース）	62.47%	63.57%	68.33%	69.67%	69.35%	69.47%	70.89%	71.14%	70.27%
貸出金（未残）	32,161	32,543	33,207	33,783	35,192	35,041	36,205	36,330	37,627
預金（未残）含む譲渡性預金	43,849	44,200	44,876	46,495	46,749	47,539	48,028	48,325	49,272
有価証券（未残）	10,519	10,680	9,816	7,616	6,262	6,724	5,918	6,542	6,492
金融再生法開示債権	709	693	671	656	612	632	633	639	572
開示債権比率	2.11%	2.03%	1.92%	1.85%	1.66%	1.71%	1.66%	1.68%	1.45%

(2020年4月)

月例経済報告（内閣府）

地域経済報告（日本銀行）

全国

北陸

北海道

景気

感染症の影響により、
急速に悪化している

感染症の影響により、
弱めの動きとなっている

感染症の影響により、
下押し圧力の強い状態にある

公共投資

底堅く推移している

増加している

増加している

設備投資

おおむね横ばいとなっている

高水準で横ばい圏内の動き

緩やかに増加している

個人消費

感染症の影響により、
急速に減少している

感染症の影響により、弱めの動き

感染症の影響により、弱い動き

住宅投資

弱含んでいる

一部に弱めの動き

弱めの動きとなっている

生産

感染症の影響により、減少している

弱めの動き

弱めの動きとなっている
足下では感染症の影響もみられる

雇用・所得

感染症の影響により、
足下では弱い動きがみられる

改善に向けた動きが一服

労働需給は引き締まっている
足下では感染症の影響がみられる

消費者物価

横ばいとなっている

上昇している

前年を上回っている

企業倒産

このところ増加がみられる

低水準で推移している

低水準で推移している

※感染症の影響・・・新型コロナウイルス感染症拡大の影響

※ 内閣府「月例経済報告」、日本銀行「地域経済報告」より

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:寺田・谷口)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:info@hokuhoku-fg.co.jp

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。